

第3 令和8年度東郷町特別会計当初予算の概要

1 国民健康保険特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

ア 少子化や、団塊の世代が75歳を迎え後期高齢者医療制度へ移行すること等により、被保険者は年々減少していますが、国民健康保険制度を将来にわたり、安定的で持続可能な社会保障制度としていくため、国民健康保険税率を見直し、適正かつ円滑な事業運営を図ることを主眼に編成しました。

イ 国民健康保険の加入者は、一般被保険者数5,802人、介護保険第2号被保険者数は、2,149人と推計しました。

(2) 予算の概要

国民健康保険特別会計の予算規模は35億4,977万7千円であり、令和7年度当初予算に比べて2,173万2千円、率にして0.6%の増となりました。

歳入の部 (単位：千円、%)

科 目	令和8年度		令和7年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 国民健康保険税	803,079	22.6	728,316	20.6	74,763	10.3
2 国庫支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
3 県支出金	2,468,516	69.5	2,487,549	70.5	▲ 19,033	▲ 0.8
4 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 繰入金	272,176	7.7	306,174	8.7	▲ 33,998	▲ 11.1
6 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7 諸収入	6,003	0.2	6,003	0.2	0	0.0
合 計	3,549,777	—	3,528,045	—	21,732	0.6

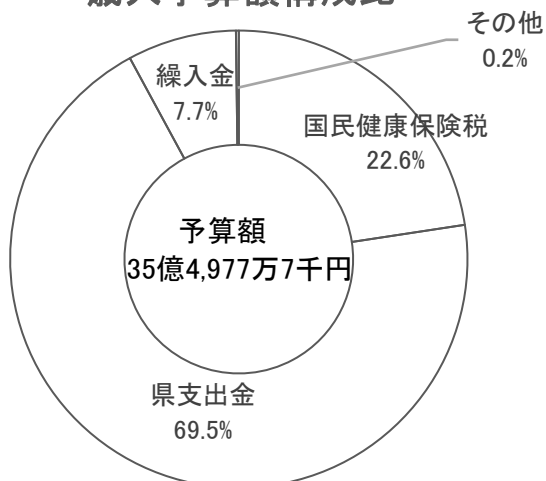
※ ▲は、減を示しています。

歳出の部 (単位：千円、%)

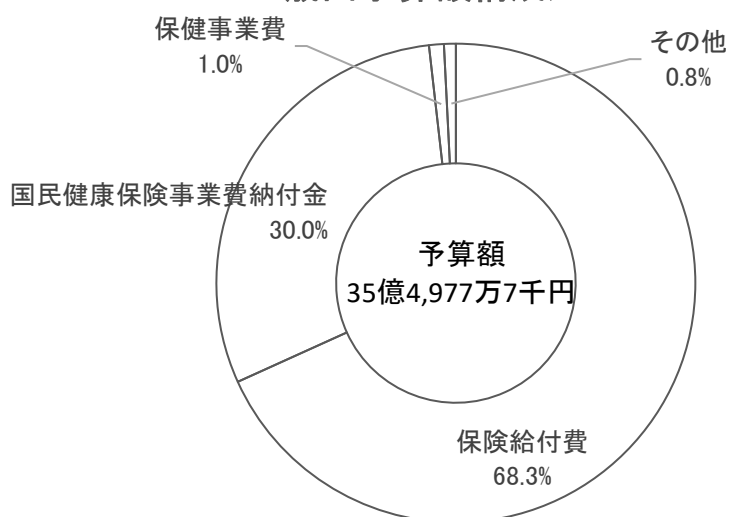
科 目	令和8年度		令和7年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	19,604	0.6	20,814	0.6	▲ 1,210	▲ 5.8
2 保険給付費	2,424,256	68.3	2,437,956	69.1	▲ 13,700	▲ 0.6
3 国民健康保険事業費納付金	1,063,648	30.0	1,023,178	29.0	40,470	4.0
4 保健事業費	34,206	1.0	38,034	1.1	▲ 3,828	▲ 10.1
5 基金積立金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 諸支出金	4,062	0.1	4,062	0.1	0	0.0
7 予備費	4,000	0.1	4,000	0.1	0	0.0
合 計	3,549,777	—	3,528,045	—	21,732	0.6

※ ▲は、減を示しています。

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



○増減額の主な理由

※構成比は、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で整合が合わない場合があります。

<歳入>

- ・国民健康保険税
保険税率の見直し及び子ども・子育て支援納付金課税額の新設により74,763千円の増額
- ・県支出金
普通調整交付金の減額等により19,033千円の減額
- ・繰入金
その他一般会計繰入金の減額等により33,998千円の減額

<歳出>

- ・総務費
資格確認書一斉更新費用の減額等により1,210千円の減額
- ・保険給付費
被保険者の減少による療養給付費の減額等により13,700千円の減額
- ・国民健康保険事業費納付金
子ども子育て支援納付金の新設等により40,470千円の増額
- ・保健事業費
特定健康診査等事業費の減額等により3,828千円の減額

2 国民健康保険東郷診療所特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

安全できめ細やかな医療サービスを提供しつつ、段階的に実施業務を縮小し、令和8年12月の業務終了を見据えた予算を編成しました。

(2) 予算の概要

国民健康保険東郷診療所特別会計の予算規模は、1億572万3千円であり、令和7年度当初予算に比べて3,128万6千円、率にして22.8%の減となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

科 目	令和8年度		令和7年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 診療収入	51,799	49.0	110,538	104.6	▲ 58,739	▲ 53.1
2 使用料及び手数料	322	0.3	711	0.7	▲ 389	▲ 54.7
3 財産収入	2	0.0	2	0.0	0	0.0
4 繰入金	49,435	46.8	21,418	20.3	28,017	130.8
5 繰越金	500	0.5	500	0.5	0	0.0
6 諸収入	3,665	3.5	3,840	3.6	▲ 175	▲ 4.6
合 計	105,723	—	137,009	—	▲ 31,286	▲ 22.8

※ ▲は、減を示しています。

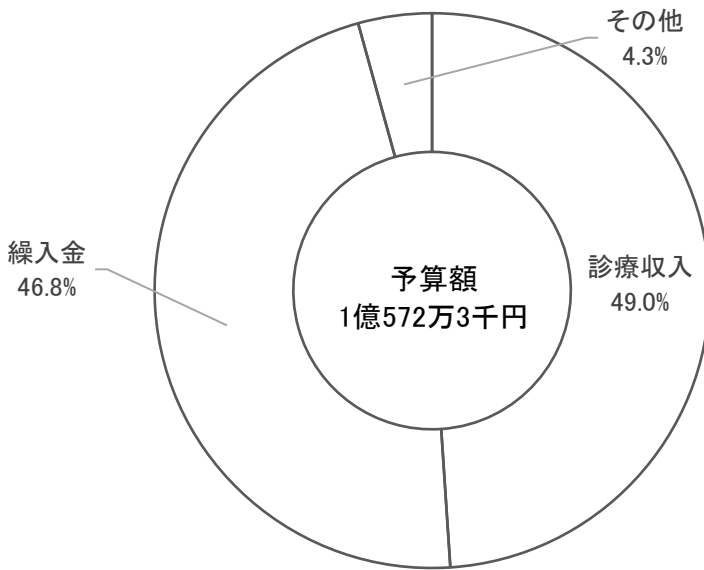
歳出の部

(単位：千円、%)

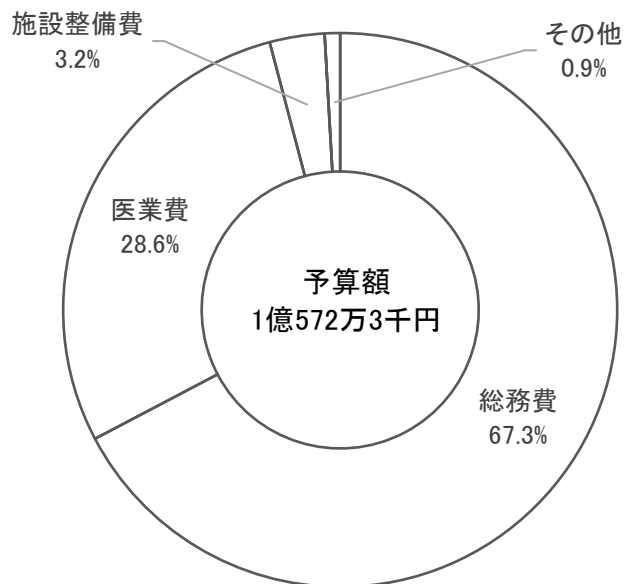
科 目	令和8年度		令和7年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	71,158	67.3	65,817	62.3	5,341	8.1
2 医業費	30,209	28.6	48,079	45.5	▲ 17,870	▲ 37.2
3 施設整備費	3,355	3.2	3,532	3.3	▲ 177	▲ 5.0
4 諸支出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 予備費	1,000	0.9	1,000	0.9	0	0.0
▲ 訪問看護事業費 (廃款)	0	0.0	18,580	17.6	▲ 18,580	—
合 計	105,723	—	137,009	—	▲ 31,286	▲ 22.8

※ ▲は、減を示しています。

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



○増減額の主な理由

※構成比は、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で整合が合わない場合があります。

<歳入>

- ・診療収入
保険診療等の減少により58,739千円の減額
- ・繰入金
財政調整基金繰入金の増額等により28,017千円の増額

<歳出>

- ・総務費
光熱水費等の増加等により5,341千円の増額
- ・医業費
医療材料費等の減少等により17,870千円の減額
- ・訪問看護事業費
訪問看護事業の廃止により皆減

3 後期高齢者医療特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

ア 75歳以上の高齢者における健康の保持と、適切な医療の確保を目的とし、保険料及び繰入金を財源として、後期高齢者医療事業の円滑な運営を図ることを主眼に編成しました。

なお、医療給付費事業については、愛知県後期高齢者医療広域連合により実施されるものです。

イ 後期高齢者医療の被保険者数は、6,550人と推計しました。

(2) 予算の概要

後期高齢者医療特別会計の予算規模は8億8,203万9千円であり、令和7年度当初予算に比べて985万2千円、率にして1.1%の増となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

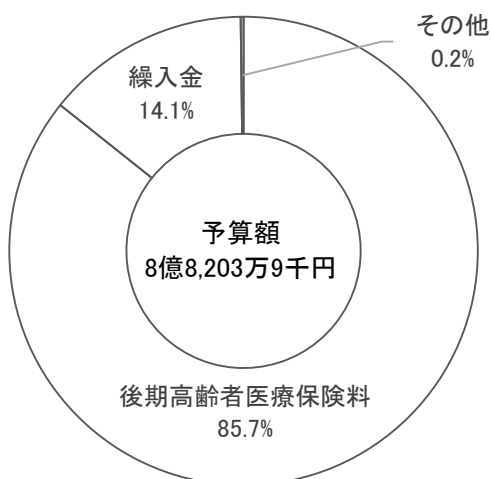
科 目	令和8年度		令和7年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 後期高齢者医療保険料	756,697	85.7	750,257	86.0	6,440	0.9
2 繰入金	124,336	14.1	120,924	13.8	3,412	2.8
3 諸収入	506	0.1	506	0.1	0	0.0
4 繰越金	500	0.1	500	0.1	0	0.0
合 計	882,039	—	872,187	—	9,852	1.1

歳出の部

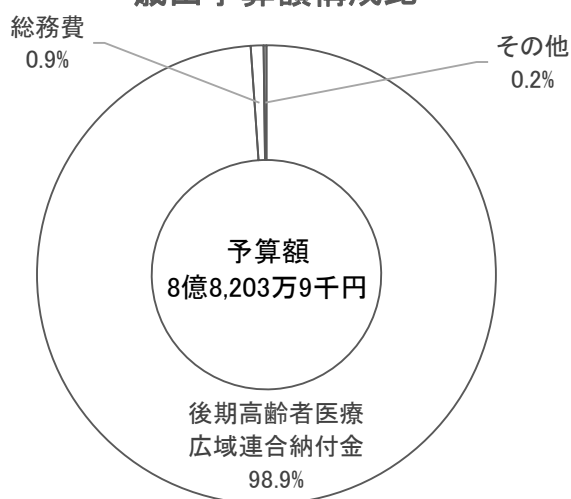
(単位：千円、%)

科 目	令和8年度		令和7年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	8,208	0.9	7,624	0.8	584	7.7
2 後期高齢者医療 広域連合納付金	872,825	98.9	863,557	99.0	9,268	1.1
3 諸支出金	506	0.1	506	0.1	0	0.0
4 予備費	500	0.1	500	0.1	0	0.0
合 計	882,039	—	872,187	—	9,852	1.1

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



※構成比は、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で整合が合わない場合があります。

○増額の主な理由

<歳入>

- ・後期高齢者医療保険料
保険料率改定、子ども・子育て支援金分保険料の新設及び被保険者の増加により6,440千円の増額
- ・繰入金
保険料率改定、子ども・子育て支援金分保険料の新設及び被保険者の増加により3,142千円の増額

<歳出>

- ・後期高齢者医療広域連合納付金
保険料率改定、子ども子育て支援納付金の新設及びの被保険者の増加により9,268千円の増額

4 介護保険特別会計

(1) 予算編成の基本的な考え方

ア 第9期高齢者福祉計画の最終年度に当たり、計画の進捗管理及び実績評価を行い、基本目標である「健康づくりと介護予防の推進」を始め4つの基本目標を軸に地域包括ケアを支える体制の強化に取り組んでいきます。

また、第8期計画から引き継いだ基本理念である「いきいきと住み続けたい 支え合いのまち とうごう」を目指すことを主眼に編成しました。

イ 介護保険の第1号被保険者は、年間平均被保険者数を10,128人、年間平均認定者数（第2号被保険者を含む。）を1,905人と推計しました。

(2) 予算の概要

介護保険特別会計の予算規模は29億7,183万3千円であり、令和7年度当初予算に比べて537万3千円、率にして0.2%の減となりました。

歳入の部

(単位：千円、%)

科 目	令和8年度		令和7年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 保険料	761,035	25.6	750,041	25.2	10,994	1.5
2 国庫支出金	537,588	18.1	559,355	18.8	▲ 21,767	▲ 3.9
3 支払基金交付金	751,994	25.3	741,831	24.9	10,163	1.4
4 県支出金	401,289	13.5	412,024	13.8	▲ 10,735	▲ 2.6
5 財産収入	1	0.0	1	0.0	0	0.0
6 繰入金	519,568	17.5	513,107	17.2	6,461	1.3
7 繰越金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
8 諸収入	357	0.0	846	0.0	▲ 489	▲ 57.8
合 計	2,971,833	—	2,977,206	—	▲ 5,373	▲ 0.2

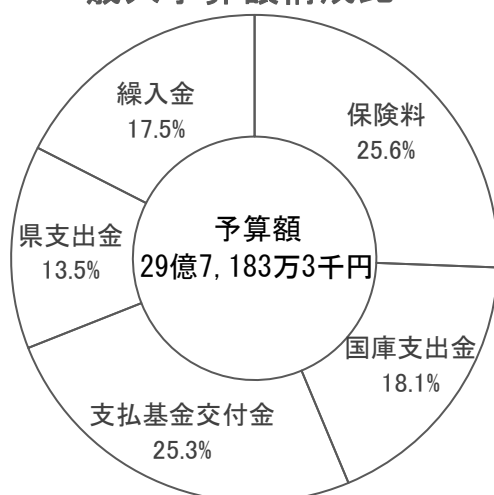
※ ▲は、減を示しています。

歳出の部

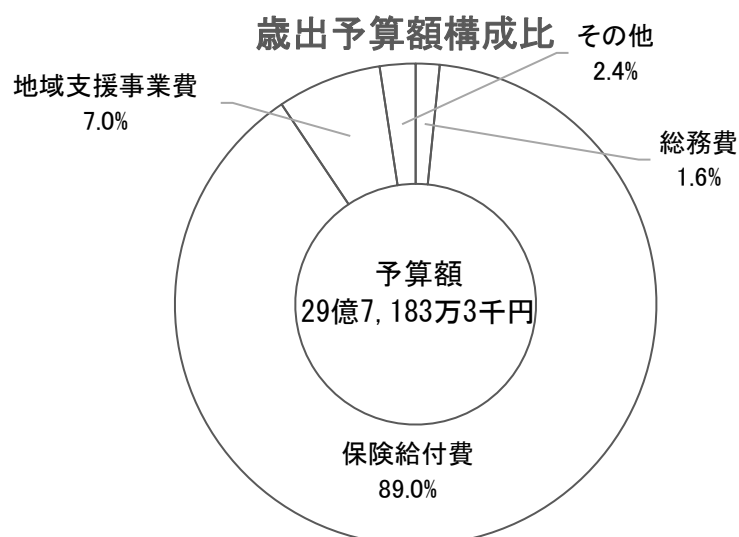
(単位：千円、%)

科 目	令和8年度		令和7年度		比較増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
1 総務費	46,512	1.6	45,862	1.5	650	1.4
2 保険給付費	2,643,510	89.0	2,613,800	87.8	29,710	1.1
3 財政安定化基金拠出金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
4 基金積立金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
5 地域支援事業費	208,203	7.0	306,736	10.3	▲ 98,533	▲ 32.1
6 諸支出金	63,606	2.1	806	0.0	62,800	7,791.6
7 予備費	10,000	0.3	10,000	0.3	0	0.0
合 計	2,971,833	—	2,977,206	—	▲ 5,373	▲ 0.2

歳入予算額構成比



歳出予算額構成比



○増減額の主な理由

※構成比は、小数点第二位で四捨五入しているため、合計で整合が合わない場合があります。

<歳入>

- ・保険料
被保険者数の増加により10,994千円の増額
- ・国庫支出金
地域支援事業費交付金等の減額により21,767千円の減額
- ・支払基金交付金
介護給付費交付金等の増額により10,163千円の増額
- ・県支出金
地域支援事業費交付金等の減額により10,735千円の減額
- ・繰入金
介護給付費準備基金繰入金等の増額により6,461千円の増額

<歳出>

- ・保険給付費
介護予防サービス給付費等の増額により29,710千円の増額
- ・地域支援事業費
総合相談事業費等の減額により98,533千円の減額
- ・諸支出金
一般会計繰出金の増額により62,800千円の増額